

とくしげ太陽保育園

# えんだより



10月



秋晴れの澄み切った青空になり空気も冷たく感じるほどですが、10：00頃からは急激に暑くなりま  
す。

先日、遠足に行くために(家族で)、私達に何か出来ることがありますでしょうか? と、ご意見箱に入  
れて戴きました。

記名をしてくださっていましたので、直接次のように、お話をさせて戴きました。

「保護者がお手伝いできることがあったら、と書いて戴いたのはどういうお手伝いをしてくださるので  
すか。」

○ 「はっきりとはわかっていないのですが、何かあったらと思って。」

「保護者の皆さんがあなたがお仕事をなさっているので、年間計画に入っていることでも、少なくとも1ヶ月前  
にはお知らせするようにしていますが、年間計画にない体操教室の参観のお知らせをしたところ、2か月  
前には知らせて欲しいとご意見を戴きました。年間予定にない行事を入れるのは、保護者のご都合、人、  
場所、時を考慮致しますので、大変難しいことです。」

「話し合う会の時には、コロナが終息はしていないくても、収束しているような状態でしたので、「遠足な  
ら戸外ですので、行かれるかもしれませんと職員と話しています。」と申し上げましたが、その後、保育園で  
爆発的な広がりを見せ、ご家族にも感染者が出ました。

まだまだ、油断はできないと再認識しました。

「今まで行っていた農業センターは改装工事中で、どうかなとは思っています。」

○ 「そういうことも、保護者に相談してくださったら、良い案も出ると思います。」

「そうですね。ご相談させていただくかもしれません、よろしくお願ひいたします。」

○よろしくお願い致します。

以上

- 異常気象が続き、異常気象にならなくなってしまうかもしれない。
- コロナのような世界中を脅かす新たな感染症があらわれるかもしれない。
- 日本のように少子化が進んでいったら、どこかで、戦争が起こったら、どのように経済を支えて行くのだろうか。
- 知的分野は、今まで膨大な数の人間が担っていたものが、ある一部の人だけが、担うのだろうか。多くの人たちは何をするのだろうか。
- 予測のつかない、世界になった時に、子どもさんにはどんな力が必要なのでしょう。

そこで、当園では繰り返しあ伝えはしていますが、非認知能力を大切にしたいと思っています。

でも、それには何が基礎になるか。

愛着関係なのです。

どんなことよりも、愛されている、認められていると確信を持って初めて自主性、主体性ができ、人を思いやることができ、困難にも立ち向かえるようになると言われています。

保護者の皆さま日々大変な中子育ても頑張っていらっしゃる事、尊敬しています。

でも、おひとりでは抱えきれないことがあることも多々あることと存じます。そのような時には、こんなことを話したいと提案していただいて、是非保育サロンに先輩パパ、ママとお話をしにいらしてください。きっとヒントや、安心を持ってお帰りになる事ができると思っております。 藤井

## おしらせ

### ○水筒について

やま、うみ、そらぐみの方には水筒を持ってきていただいているが、秋ごろまでという予定でしたが、最近は気候が良く外で遊ぶ時間が長くなりました。水筒はいつまで持ってくるかとご質問を下さった方もいらっしゃいましたが、まだまだ暑い日が続いているのでもうしばらく水筒のご用意をお願いします。

### ○体操参観

一斉メールでお知らせしました、体操の参観を行います。急に決まった行事で、お仕事等の都合がつかなかった方は申し訳ありません。

短い時間ですが、お子さんのがんばりを見ていただきたいと思います。

体操や英語も普段の保育同様、きちんと並ぶことや上手にできるということはあまり重要視していません、日によっては「きょうはやりたくないな」「みているだけがいいな」という子もいますが、無理に誘うということはせず、見学という方法で参加することで自分の気持ちをととのえられるようにしています。参観の際にそういう子がいましても、あたたかく見守っていただけたらと思います。

10月は26日、はなぐみ、うみぐみです。

### ○いもほり

いもほりは、はなぐみ以上で行います。詳しくは玄関に張り紙がしてあります。

9時に出発したいので、間に合うように登園してください。たくさんとれますように。

## ○保育サロン

10月29日 10:30~11:10 ID:448 622 7668 パスワード:tokushige

保育サロンを行います。冒頭でもお伝えしていますが、みなさんが気軽に話せる場にしていきたいです。オンラインは入りにくいかもしれません、ぜひごさんかお待ちしています。お子さんとご一緒でも、話すとき以外はマイクを切って聞いていただけますのでどうぞ。

## ○えんそく

11月9日は遠足です。お弁当の用意をお願いします。持ち物、行き先については各クラスでお知らせいたします。

お弁当につきましては、お子さんが食べやすい形状、食べきれる量にしてください。

### 【保育ちょっと話】

#### 子どもの遊び場って、どこ？

子どもって、大人が行ってほしくないところに行きたがったりしますよね。保育園で子どもが遊ぶ場所といえば保育室や園庭ですが、それ以外でもワクワクする場所はたくさんあります。ベッドのうしろのすき間、職員室、机の下、トイレ…、遊びに飽きたり、お部屋で嫌なことがあったり、なにか落ち着かないということがあると、ちょっとお部屋を離れたくなるものです。いつもの場所から少し離れて、気分転換したり、気持ちを整えたりと、子どもは自然にそういうことをして心の安定を図ろうとするんですよね。

子どもにとって身の回りに起こるすべてのことが発見です。その中からいろいろなことを学んでいるのですが、自分の発見や誰かと一緒に楽しむうれしさやドキドキ感、安心感から非認知能力が伸びていくと考えています。

行ってほしくない場所だとしても、どうして行きたいのかを考えて、その子の気持ちを理解しようとしています。また、何が楽しいのかな?ということを子どもの身になって考え、共感し、そういう遊びならこつちでもできるよ、と安全な場所で遊ぶような提案をしたりしています。つまりその子の欲求を満たせるようにしています。

いつどこで遊んでもいいといつても、来客やお熱の子がいるときには職員室に入れないなど、思うようにはいかないこともあります、きちんと説明すればわかってくれます。

こういうことから、時と場所をわきまえるということも身についていると感じます。

いくら寄り道しても、1人で隠っていても、どの子も結局自分の部屋に帰っていきます。自分の安心できる場所をみんなちゃんとわかっています。担任の先生の、「あの子は今あそこに居たいんだな、」という理解と信頼が、子どもたちに伝わっているのだと思います。

保育園の中はすべての場所が遊び場で、すべての場所が学びの場で、すべての場所が安心できる場所なのです。

# 給食だより



涼しい日が多くなり、秋を感じる季節になりました。食欲の秋ですね。旬の食べ物を知り、味わって秋の味覚を楽しみましょう。

この前やま組さんで、ごはんでのお月見団子作りをしました。ごはんを一人ずつ団子の形に丸めてもらい、きなこかみたらしのたれをかけて食べてもらいました。



## おいしい秋の味覚

**野菜**では、根っこのがだんだんおいしくなります。  
大根は辛さがぬけて甘みを増してきます。  
さといも、さつまいももおいしくなってきます。



**果物**では、りんご、みかん、柿などもおいしくなってきます。



**魚**はDHA、EPAを含んださばも旬です。



### きのこ

しいたけはビタミンDを含んでるのでカルシウムの吸収率を上げます。

